

ニュース・年間行事

- 1月20日 プレスリリース
 - ・「固体酸化物形燃料電池SOFCで600℃以下での低温作動化に成功」の内容で発表。
- 1月25日 ホソカワ粉体工学振興財団贈呈式
 - ・恒例の贈呈式がホソカワ粉体技術研究所本社にて開催された。本年のKONA賞は福森先生が受賞され、記念講演が行われた。参加者51名。
- 1月25—27日 燃料電池展2006への展示
 - ・粒子複合化処理装置ノビルタならびにSOFCのサンプル等を出展。
- 2月21—23日 ナノテク2006への展示
 - ・媒体攪拌ミルならびにFCM法で作製したナノ粒子サンプル等を展示。
- 3月 ホソカワ粉体技術研究所五條工場が完成。
 - ・ホソカワミクロン(株)奈良工場(奈良県五條市)の敷地内にホソカワ粉体技術研究所五條工場が完成し、ミクロン美容科学研究所の化粧品製造部門が移動。
- 4月15日 アジアナノパーティクルテクノロジーシンポジウムの開催
 - ・日本、タイ、韓国のナノパーティクルテクノロジーの最新動向などについての講演があった。93名の参加があった。
- 4月27日 プレスリリース
 - ・養毛料「ナノインパクト(化粧品)」500名限定会員募集(販売)開始のお知らせ。
- 4月28日 ナノパーティクルテクノロジーハンドブックの発行。
- 5月17—19日 インターフェックスジャパンへの展示
 - ・GMP仕様メカノフュージョンAMS-Mini, ダストフリーパウダテスト, タップ密度測定装置USP等の装置を展示。
- 6月 燃料電池開発部 五條工場へ移転。
- 7月20日 ホソカワ粉体工学振興財団への助成申請締切
 - ・本年度は、ナノパーティクルテクノロジーに関連したテーマを中心にした121件の研究助成を含めて143件の申請があった。採択は11月理事会にて正式に決定される。
- 8月29日 第40回粉体工学に関する講演討論会の開催
 - ・テーマは「ナノテク実用化の鍵を握るナノ粒子の制御と応用」。参加者数は174名。



第40回 粉体工学に関する講演討論会風景

編集後記

本年はホソカワミクロン株式会社の創立90周年であると共に、粉碎誌もNo.50の記念号となりました。本号は、4月に開催されたアジアナノパーティクルテクノロジーシンポジウムならびに8月に開催された第40回粉体工学に関する講演討論会の講演内容を基にして編集されています。今年は何かと10年周年記念が重なった年となっています。

また、最近粉碎誌は年末の発行となり、昨年12月27日にNo.49(2005)を発行しましたが、本号はNo.50(2006/2007)として継続性を保ちながら、今後ホソカワグループの年度始めである10月に発行することになりました。来年号はNo.51(2008)として発行の予定です。

今回は50号の記念号となり、これまでの記事の目次を巻末に添付しました。さらに、本号より電子ジャーナル化を開始する予定となっています。

“粉碎” No.50 (2006/2007)

2006年10月30日 発行

編集発行責任者 横山 豊和

発行所 株式会社 ホソカワ粉体技術研究所
大阪府枚方市招提田近1丁目9

電話：072-855-2307

FAX：072-855-2561

印刷所 (株)NPCコーポレーション

大阪市北区天満1丁目9-19
